snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

真空断熱システムボトル

取扱説明書

Ver1.00

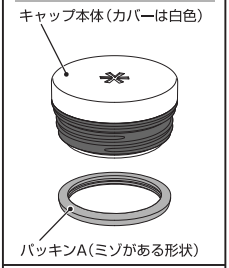
TW-070(350)
TW-071(500)

このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この商品は飲み物を保温保冷するために開発された真空断熱ボトルです。安全にご使用いただだくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点や製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

各部の名称

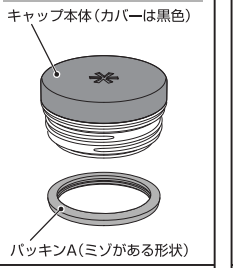
※パッケージを開封したら各部品が全て揃っているか確認してください。

クーラーキャップユニット ×1



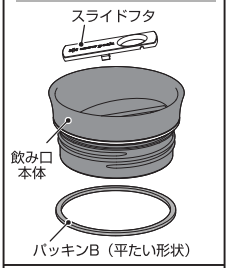
冷えた飲料缶を未開栓のまま保冷して携行できます。

保温キャップユニット ×1



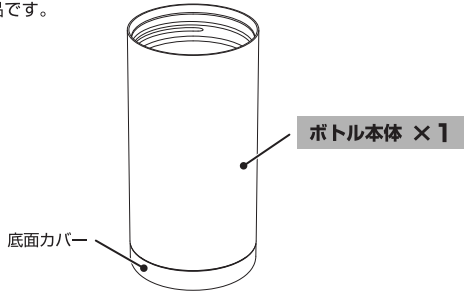
温かい飲み物や冷たい飲み物を直に注いで携行できます。

タンブラーキャップユニット ×1



飲み物をボトルから直飲みするときに使用。（携行はできません）

※パッキンは消耗品です。



表示マークの意味

●製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方や表示を無視した使い方をした時に生じる損害の危険や損害の程度を以下のように分類しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示しています。
⚠ 警告	場合により重大な事故に至る行為を示しています。
⚠ 注意	ケガや本体の破損、他の財産に損害を与える原因となる行為を示しています。

⚠ 危険

●乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
また、いたずらには十分注意してください。(やけどやケガの原因となります)

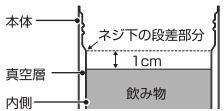
●ボトル本体やキャップを直接火にかけたり湯せんするなど加 熱しないでください。爆発や溶解の恐れがあります。(やけどやケガの原因となります)

⚠ 警告

●本製品を飲み物の保温、保冷以外に使用しないでください。ストーブや直火などで高温になる場所へは近づけないでください。(やけどや変形、変色の原因になります)

●熱い飲み物を入れて使用する場合は本体を傾けながらキャップを開けたり、顔を近づけてキャップを開閉しないでください。(飲み物が吹き出たり飛び散ってやけどやケガの原因になります)

●飲み物は右図の位置までにしてください。(入れすぎるとキャップを閉める時に飲み物があふれてやけどをしたり、周囲をよごす原因となります)



⚠ 警 告

●キャップユニットのパッキンは正しく取り付けたことを確認し（P9図参照）キャップを確実に閉めてください。（パッキンの取付けが不完全だと飲み物が溢れてやけどをしたり、周囲をよごす原因となります）

●以下のものは絶対に入れないでください

・ドライアイス、開栓した炭酸飲料（内圧が上り、キャップが開かなくなったり、飲みものが吹き出る、キャップが破損して飛散することがありケガや周囲をよごす原因となります）

・牛乳、乳飲料、果汁など腐敗しやすい飲みもの（長く放置した場合、腐敗ガス発生により内圧が上がり、キャップが開かなくなったり、飲みものが吹き出る、キャップが破損して飛散することがありケガや周囲をよごす原因となります）

・お茶の葉、果肉（キャップと本体の間につまって飲み物が漏れてやけどや周囲をよごす原因になります）

●飲み物を入れた状態で長く放置しないでください（飲みものが変質、腐敗するとガスが発生し、内圧が上がり、キャップが開かなくなったり、飲みものが吹き出る、キャップが破損して飛散することがありケガや周囲をよごす原因となります）

●ボトル本体、キャップユニットは煮沸したり、食器洗浄機、食器乾燥機を使用しないでください（熱によりボトル本体やキャップが変形し飲み物が漏れてやけどや周囲をよごす原因になります）

●落としたりぶつけたり強い衝撃を与えないでください（変形により保冷、保温効果が低下したり、飲み物が漏れてやけどや周囲をよごす原因になります）

●改造、分解は絶対にしないでください。（けがややけどの原因となる他、故障の原因となります）

⚠ 注 意

●異形缶や変形した缶はボトル本体に入らない場合があります。飲料缶を収納する際はあらかじめ缶が入るか確認し、入りにくい場合は無理に押し込まないでください。（飲料缶が取り出せなくなる原因になります）

⚠ 注 意

●クーラーキャップユニットに封入された保冷剤の成分は人体に影響はありませんが、破損により万一手肌や衣服に付着した場合は流水でよく洗い流してください。

●キャップユニットはパッキンを正しく取付け確実に閉めてください。（漏れて周囲を汚す原因になります）

●持ち歩く前に本体を逆さまにして漏れのないことを確認してください。（漏れのある場合は、P9「パッキンの取り付け方」を参照してください）

●みそ汁やスープ等塩分を多く含む飲み物を入れないでください。（ボトル本体には18−8ステンレスを使用していますが、サビる原因となります）

●大きな氷は無理に押し込まず、小さくしてから入れてください。

●熱いお茶を保温した場合、お茶に含まれる成分により色や風味が変わることがあります。人体に影響はありませんが保温したお茶は早めにお飲みください。

●塩素系の漂白剤は使用しないでください。（サビの原因になります）

●長さが短い飲料缶や直径が小さい飲料容器をボトル本体に入れないでください。携行の際飲料缶がボトル本体を破損させる恐れがあります。

●ご使用後はボトル本体内側を柄の付いたスポンジ等で十分に洗ってください。

●製品の構造上、湿度が高い時やその他の条件により水滴が付くことがありますのでご注意ください。

●長期間使用しない時は、パッキン保護のため、キャップはゆるめて保管してください。

●ボトル本体外側は丸洗いしないでください。本体と底部カバーとの間に水が浸入し、サビが発生したり他の物を汚す原因になります。

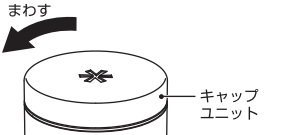
●飲料缶をボトル本体に収納する時はボトル本体を斜けてゆっくりと飲料缶を挿入してください。垂直に缶を落とし込んだり、勢いをつけてセットするとボトル本体が変形して保温力を損なう原因になります。

ご使用方法　ご使用前には必ず本体を十分に洗ってください

ご使用前の準備

パッケージから本体を取り出したらキャップユニットを反時計方向に回してはずします。

本体の口の周囲を強く握るとキャップがはずれにくい場合があります。ボトルの底面とキャップを握って開栓してください。

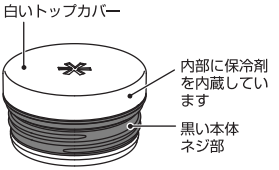


クーラーキャップの使い方

❶キャップを凍らせる

クーラーキャップは飲料缶を保冷しながら携行するための専用キャップです。使用前にご家庭の冷凍庫にキャップを12時間以上入れ、内部の保冷剤を十分に凍結させます。

冷蔵庫の製氷室や-18℃以下にならない冷凍庫では保冷剤が凍結せずに保冷性能を十分に発揮できません。庫内温度を確認してご使用ください。

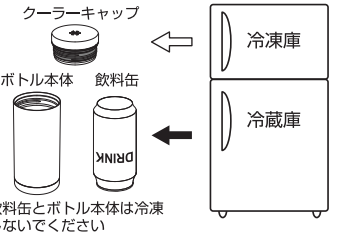


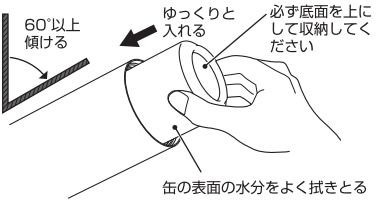
❷飲料缶をセットする

冷蔵庫で冷やした飲料缶を取り出し、**缶の飲み口を下にして**（底面を上にして）斜めに傾けたボトル本体にゆっくりと入れます。

ボトル本体は飲み物と一緒に冷蔵庫で予冷しておくと保冷力が高まります。

飲料缶をボトル本体にセットする時は**缶の底面を上にして**セットしてください。飲み口を上向きにセットするとキャップが閉まりません。





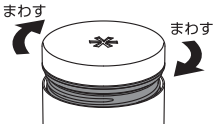
ご使用方法

クーラーキャップの使い方

❸キャップを閉める

飲料缶をボトル本体にセットしたらキャップを時計方向に回して確実に閉めます。

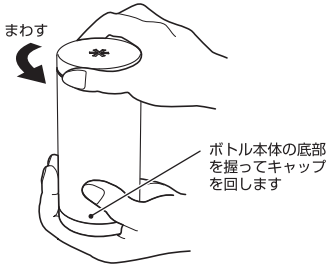
キャップにがたつきやすき間がないか確認してください。



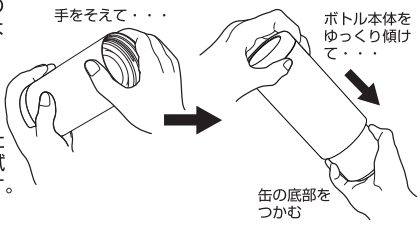
❹飲料缶を取り出す

キャップを反時計方向に回しボトル本体から取り外します。

キャップを外す時はボトル本体の底部をつかんでキャップを回してください。ボトルの口付近を強く握るとキャップが開きにくくなります。



キャップを取り外したらボトル本体の口に手をそえて、ゆっくりとボトル本体の口を下に傾け、ボトル本体の底部を手のひらでつかむように飲料缶を取り出します。



❺飲み終わった後は

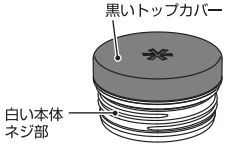
飲料缶の飲み物を飲み終ったらボトルの中の水気をよく拭き取ってキャップを閉めます。

飲み切らなかった飲み物は絶対にボトルに入れて携行しないでください。

飲みかけの飲料が入った缶をボトルにもどして携行しないでください。

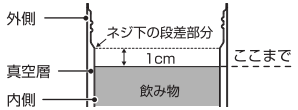
保温キャップの使い方

保温キャップは暖かい飲み物や冷めたい飲み物を液体のままボトルに注いで携行するための専用キャップです。



❶飲み物を入れる

飲み物をボトルに注ぐ時は図の位置までにしてください。図の位置を越える量の飲み物を入れるとキャップを閉める時に溢れる原因となります。



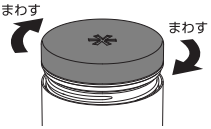
予め容器を予冷、予熱しておくと保冷、保温効果が高まります。

ボトルを予冷するときは冷蔵庫に30分程度入れて予冷してください。

ボトル本体を予熱するときは図の位置まで熱湯を注ぎ30秒程度温めたら湯を捨てて飲み物を注ぎます。

❷キャップユニットを閉める

本体を垂直に立てた状態でキャップユニットを時計方向に回して確実に閉めます。



キャップユニットが確実に閉まっていない状態で本体を傾けたり揺らしたりすると飲み物が溢れる原因になります。

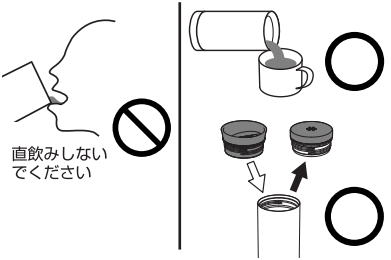
❸キャップユニットを開く

キャップユニットを開く時は本体を垂直に立てた状態で本体の上下を握りながらキャップユニットを反時計方向に回しボトル本体から取り外します。

キャップユニットを取り外す時は本体を傾けたり揺らしたりしないでください。飲み物が溢れる原因になります。

❹飲み物を飲む

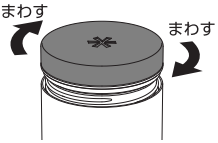
飲み物を飲む時はボトル本体から直飲みせずにカップに注いで飲むかタンブラーキャップを取り付けてお飲みください。



本製品はボトルの口径が大きいため、直飲みしますと一度に大量の飲み物が出てやけどや飲み物をこぼす原因になります。

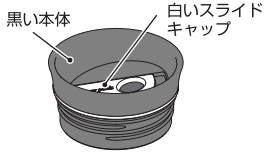
キャップを外す時は熱い蒸気が出ますのでご注意ください。

❺飲み終わったら
飲み物を飲み（注ぎ）終わったらボトル本体を垂直に立てた状態でキャップユニットを時計方向に回して確実に閉めます。

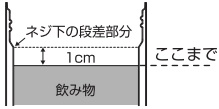


タンブラーキャップの使い方

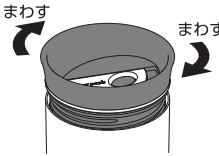
タンブラーキャップはボトル本体に取り付けて直接飲物を飲むための専用キャップです。スライドキャップを装備していますが、密閉構造ではありませんので携行は出来ません。



❶飲み物を入れる
飲み物をボトルに注ぐ時は図の位置までにしてください。図の位置を越える量の飲み物を入れるとキャップを閉める時に溢れる原因となります。

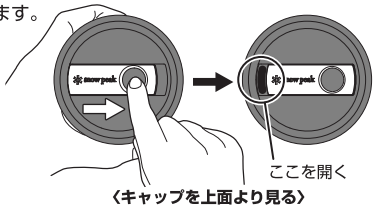


❷キャップユニットを閉める
本体を垂直に立てた状態でキャップユニットを時計方向に回し、確実に閉めます。



❸飲み物を飲む
飲み物を飲む時はボトル本体を垂直に立て、一方の手でボトル本体を確実に押さえます。他方の手でスライドキャップの丸穴部に指をかけて図の方向にスライドさせて飲み物の出口を完全に開きます。

ボトル本体を傾けた状態からスライドキャップを開かないでください。飲み物が溢れる原因になります。また、片手での操作はボトル本体を転倒させる恐れがありますので必ず両手で開閉操作してください。



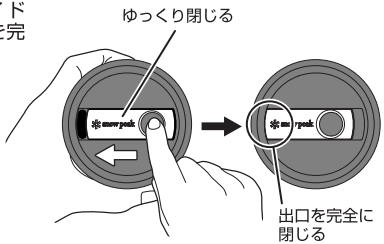
〈キャップを上面より見る〉

❹飲み終わったら

飲み物を飲み終わったらスライドキャップを閉じて飲み物の出口を完全に閉じてください。

スライドキャップを閉じても本体は密閉状態にはなりません。飲み物を携行する時には必ず保温キャップを使用してください。

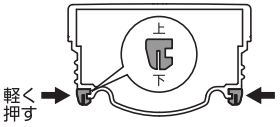
スライドキャップは勢いをつけて閉じないでください。飲み物が飛び散る恐れがあります。



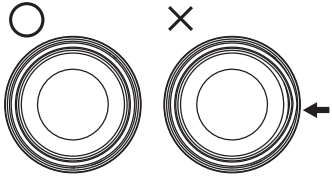
〈キャップを上面より見る〉

パッキンの取り付け方　ご使用前には必ず確認してください

●クーラーキャップ、保温キャップ共通（パッキンA）



溝がある方が下側です



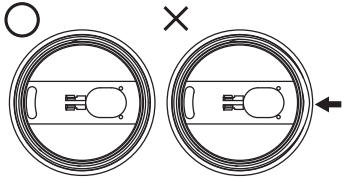
〈下から見た図〉

歪みのない同心円になるように取り付けます。

歪みがあると飲み物が漏れる原因になります。

●タンブラーキャップ専用（パッキンB）

パッキンBに裏表はありません



〈上から見た図〉

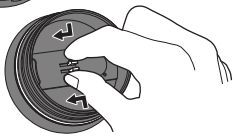
歪みのない同心円になるように取り付けます。

歪みがあると飲み物がボトル本体との隙間から漏れる原因になります。

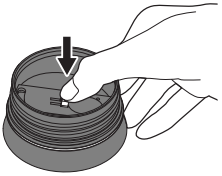
タンブラーキャップのスライドフタの外し方

❶スライドフタを開く
スライドフタの飲み口を開く方向にスライドさせます。

❷スライドフタのツメを外す
キャップユニットを裏返し、中央にある2本のツメを指で強くつまみながら押し込みます。



❸ツメの先端を押し込む
ツメが少し押し込めたら親指でツメを上から押し込みスライドフタを外します。



お手入れの方法　いつもでも清潔にお使いいただくために使用後は必ずお手入れください

・お手入れにはぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤を使用してください。
・ボトル内側の汚れが落ちにくい時は市販のポット洗浄剤や酸素系漂白剤を使用してください。(酸素系漂白剤を使う時はキャップをボトル本体に取付けないでください)
・保管の際はきれいに汚れを落とし、十分に乾燥させてから風通しの良い涼しい場所にキャップを外して保管してください。

部品 / 洗い方	ボトル本体		キャップユニット
	内側	外側	
流水洗い	○	×	○
つけ置き洗い	○	×	○
酸素系漂白剤	○ キャップは閉めないこと	×	○ 必ず本体から取り外した状態で洗浄してください
塩素系漂白剤	×	×	×
洗浄時のお手入れ法	やわらかいスポンジで洗い流水でよくすすいだ後につけ洗いするか、十分に乾燥させます。	薄めた食器用洗剤をやわらかい布に含ませてよく絞り、汚れを拭き取ります。	パッキンを外してキャップ本体とパッキンをやわらかいスポンジでていねいに洗い、十分に乾燥させてからパッキンをP9の正しい位置に取りつけます。汚れがひどい時はつけ洗いします。

こんな時は・・・

トラブル	原因	対処方法
飲み物が漏れる	キャップユニットが確実に閉まっていない	キャップユニットはボトル本体を垂直に立てた状態で時計方向に確実に閉めてください。
	飲み物の入れすぎ	飲み物は決まった量までにしてください。（P7、8 参照）
	パッキンが正しく取りつけられていない	各キャップユニットに合ったパッキンを正しく取り付けてください。（P9 参照）
	パッキン破損、消耗	弊社ユーザーサービス係にパッキンを注文してください。（P12 参照）
保温（保冷）力が低い［保温キャップの場合］	飲み物の量が極端に少ない	飲み物の量を増やしてご使用ください。※飲み物は決まった量までにしてください。
	飲み物の温度が十分に熱く（冷たく）ない	十分に熱した（冷した）飲み物を入れてください。ボトル本体内側を予熱（予冷）しておくとより効果的です。
缶飲料の保冷力が低い［クーラーキャップの場合］	缶飲料が十分に冷えていない	冷蔵庫内の温度が 4℃程度であることを確認し、12 時間以上冷蔵した飲料缶を入れてください。
	クーラーキャップの保冷剤が十分に凍結していない	冷凍庫内の温度が -18℃程度であることを確認し、12 時間以上冷凍したクーラーキャップを使用してください。
ボトル本体内側が変色した	ボトル内側の洗浄が不十分	柄の付いたスポンジで内部を洗い、酸素系漂白剤をボトルに注ぎつけ洗いしてください。
	飲料缶とボトル内側に水分が付着していた（白っぽい汚れ）	柄の付いたスポンジで内部を洗い、10 倍に薄めた食酢をボトルに注ぎ、1 時間程つけ洗いして、よくすすいでください。
異臭がする（カビ臭い）	ボトル内側キャップの洗浄が不十分	ボトル内側を十分洗浄した上で、キャップのパッキン（タンブラーキャップの場合はスライドフタも）を外し、柔らかいスポンジで洗浄した後に酸素系漂白剤でつけ洗いしてください。
緑茶が赤茶色に変色した	長時間保存による成分の変質	緑茶は短時間の保存でも変質することがあります。飲用にあたって害はありませんが、早めに飲みきることをお勧めいたします。

品質保証について

お買い求めいただきました製品には万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理交換の判断は、弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証・修理出来ない場合もありますので、予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など製品の寿命
2. 改造及び粗雑な扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不慮の事故による製品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる故障
8. 落下やその他衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 磨耗によるパーツの変化およびそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

スペック

●セット内容:
ボトル本体×1、クーラーキャップユニット×1、保温キャップユニット×1、
タンブラーキャップユニット×1、取扱説明書(本書)×1

●材質:
- ボトル本体/18-8ステンレス(外側アクリル塗装)
- キャップユニット/ポリプロピレン
- キャップユニット/ポリプロピレン パッキン/シリコンゴム
- 断熱材/発泡スチロール
- 保冷剤/水、吸水性ポリマー、安定剤、防腐剤、PEフィルム

●サイズ( )内はTW-071
・クーラーキャップ、保温キャップ取付け時
W7.7cm×D7.7cm×H17.4cm
(W7.7cm×D7.7cm×H21.9cm)
・タンブラーキャップ取付け時
W8.1cm×D8.1cm×H17.7cm
(W8.1cm×D8.1cm×H22.2cm)

●保温効力( )内はTW-071
・保温力:95℃→55℃[6時間]
(95℃→60℃[6時間])
・保冷力:4℃→6℃[6時間]
(4℃→6℃[6時間])
※クーラーキャップー18℃冷凍を使用、外気温20℃にて測定

●原産国:日本製

●容量( )内はTW-071
・390ml (540ml)

●重量( )内はTW-071
・ボトル本体 280g(360g)
・クーラーキャップ 90g
・保冷キャップ 40g
・タンブラーキャップ38g

●カラー
・TW-070/071DS ダークシルバー
・TW-070/071WR ワインレッド
・TW-070/071PW パールホワイト

修理が必要な時は

スノーピークユーザーサービス係
受付時間:午前9:00~17:00
月曜日~金曜日(祝祭日を除く)
フリーダイヤル 0120-010-660
userservice@snowpeak.co.jp

責任元

株式会社スノーピーク
〒955-8616 新潟県三条市三貫地958
tel:0256-38-1110 fax:0256-38-1015
URL:www.snowpeak.co.jp

MADE IN JAPAN